

## 日本の70年代

2013年4月20日(土)～7月7日(日)

### 学生闘争、万博…熱気と活気の時代・70年代に生まれた数々の表現・ムーブメント。

学生運動の激化や大阪万博の熱狂など、1968年から1970年初頭の日本は、熱い時代を迎えていました。同じ頃、デザイン、演劇、音楽などさまざまな分野の表現者が大胆に交流しながら、芸術を根源から問い直そうとする動きが起こります。そこでは表現することを疑い、原点を探るような試みが多く現れ、同時に、万博に反対する反博や、権威と見なされた組織への反抗なども起こりました。

また、デザイナーや写真家、書き手が一体となって作りあげた、個性的で斬新な雑誌『デザイン批評』『季刊フィルム』や、書籍が多く現れました。さらに、女性誌『アンアン』やタウン誌『びあ』などの雑誌が創刊され、新しい時代や街の動きを敏感に捉えました。

時代の気分が大きく変化した70年代後半になると、原点から再出発するように絵画が復権します。

若者文化を取り上げる『ポパイ』や『ブルーラス』などの雑誌が次々と創刊され、軽やかで日常的なイラストレーションが表紙を飾りました。今ではセゾン文化と呼ばれる、パルコや西武百貨店、西武美術館を中心としたデザインやポスターの華やかさがこの時代を彩りました。

### デザイン、建築、演劇、美術、写真、音楽、漫画～多岐にわたるジャンルの作品・資料を通じて回顧する70年代。

本展では、学生闘争で日本が揺れた68年頃を起点とし、デザイン、建築、演劇、美術、写真、音楽、漫画など、多岐にわたるジャンルの担い手たちによる作品や資料を通じて、熱気と活気に満ちた70年代という時代を回顧し、混沌の時にある現代のわれわれが進むべき道を考察する機会とします。



佐々木美智子《日大全共闘》  
1968年 作家蔵



《日本万国博覧会 せいめい館・外観と大看板》1970年  
写真撮影：遠藤正、写真提供：松本俊夫



略称・連続射殺魔 1969年  
共同制作：足立正生、岩淵進、山崎裕、野々村政行、松田政男、佐々木守  
© 足立正生全映画上映実行委員会



『アンアン』創刊号(1970年3月20日号)  
アートディレクション：堀内誠一  
表紙写真：立木義浩 ©Seiichi Horiuchi

### 開催概要

- 【会期】 2013年4月20日(土)～7月7日(日)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時 ※ただし5月3日(金・祝)は午後7時まで  
※入場は閉館30分前まで
- 【休館日】 月曜日(4月29日、5月6日を除く)、4月30日(火)、5月7日(火)
- 【観覧料】 一般1,000(800)円、大学生700(600)円、高校生500(400)円  
※( )内は前売りおよび30人以上の団体料金 ※中学生以下：無料  
※65歳以上：6月30日まで無料、7月2日以降500円
- 【主催】 広島市現代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 【協賛】 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン
- 【後援】 広島県、広島市教育委員会(予定)、広島エフエム放送(予定)、尾道エフエム放送

出品作品、アーティスト等

【デザイン】

粟津潔：『季刊フィルム』（雑誌）、《犬神》天井棧敷フランクフルト公演版（ポスター）など／宇野亜喜良：《星の王子さま》天井棧敷（ポスター）／及川正通：《書を捨てよ！町へ出よう！》天井棧敷（ポスター）、『ぴあ』（雑誌表紙）／亀倉雄策：《EXPO'70（祭）》（ポスター）／横尾忠則：《第6回東京国際版画ビエンナーレ展》（ポスター、図録表紙）、《毛皮のマリー》天井棧敷（ポスター）など  
他、石岡瑛子、植草甚一、田中一光、羽良多平吉、堀内誠一 など

【建築】

《日本万国博覧会せんい館》：横尾忠則（建築デザイン）、松本俊夫（映像）、四谷シモン（展示人形制作）／《中銀カプセルタワービル》：黒川紀章（設計）／『TAU 現象としての建築雑誌』 など

【演劇】

ポスター：劇団状況劇場【主宰・唐十郎】、天井棧敷【主宰・寺山修司】など／刊行物：『季刊 地下演劇』 など

【美術】

赤瀬川原平、榎倉康二、柏原えつとむ、北辻良央、菅木志雄、沢居曜子、関根伸夫、高松次郎、谷川晃一、野村仁、宮迫千鶴、李禹煥 など

【写真】

佐々木美智子、山崎博、篠山紀信（写真集）、中平卓馬（写真集）

【音楽関係】

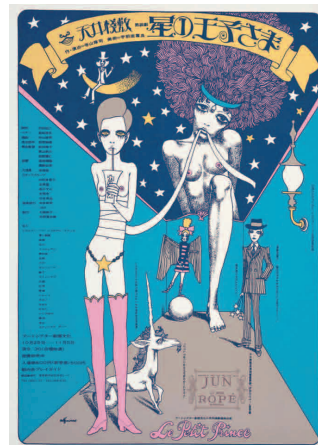
ポスター：《はれんちりさいたる 当世今様 民謡大温習会 ふをうく・くるせだ あず ザ・ズートルビー》、《あんぐら音楽祭 オープニング・コンサート》など／レコードジャケット（デザイン・WORKSHOP MU!!）：大滝詠一《大滝詠一》《Niagara Moon》、細野晴臣《HOSONO HOUSE》、はっぴいえんど《HAPPY END》、サディスティック・ミカ・バンド《SADISTIC MIKA BAND》  
他、タージ・マハル旅行団 など

【漫画】

表紙：『週刊少年マガジン』『まんが No.1』（デザイン・横尾忠則）、『漫画主義』『月刊漫画ガロ』（デザイン・赤瀬川原平）など／原画：上村一夫《同棲時代》（掲載『漫画アクション』）、真崎・守《ジロがゆく》（掲載『月刊少年マガジン』） など

【映像】

映画：《略称・連続射殺魔》足立正生（監督）、映像作品：萩原朔美 など



デザイン：宇野亜喜良  
《星の王子さま》天井棧敷 ポスター  
1968年  
ポスターハリス・カンパニー蔵



李禹煥《関係項》  
1969（再制作 1988）年  
広島市現代美術館蔵



上村一夫《同棲時代》原画  
1972年  
上村一夫オフィス蔵

【同時開催】

● コレクション展 2013-1 「レイヤー 層が生み出す表現」  
2013年3月16日（土）～6月23日（日）

【次回開催】

● 特別展 サイト＝場所の記憶、場所の力ー  
2013年7月20日（土）～10月14日（月・祝）

広島市現代美術館（学芸担当：角 広報担当：後藤、鈴木）

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(学芸直通) FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp WEB/ http://www.hiroshima-moca.jp/